

**入院中の症状・症候**

RIME モデルは？ R \_\_\_ I \_\_\_ M \_\_\_ E \_\_\_ :計 100 点:Reporter/Interpreter/Manager/Educator

**発熱**

- ① 入院中の方に発熱があった場合に、\_\_\_\_\_ 性が非\_\_\_\_\_ 性を考える習慣をつけることが重要である。
- ② 感染性の発熱の場合、各種 \_\_\_\_\_ を取らずに抗菌薬投与を行うことは一部の場合を除いて、適切な感染症診療が行えないことに留意する。  
悪寒だけでなく \_\_\_\_\_ があった場合は、菌血症になっている可能性があるので、指示になくても \_\_\_\_\_ 培養を \_\_\_\_\_ セット取ることを検討する。1セットで不十分な理由は \_\_\_\_\_ があるからである。なお、菌血症を起こしやすい臓器・疾患としては、 \_\_\_\_\_ がある。
- ③ 発熱の原因検索としては、自覚症状の有無が参考になるが、それ以外に患者さんにつながっている各種 \_\_\_\_\_ を確認する習慣が重要である。余裕があれば \_\_\_\_\_ の有無を確認するためにも下肢のチェックをする: \_\_\_\_\_ (皮膚は最大の防御機構)や脳卒中などでの【健側・患側】や \_\_\_\_\_ の罹患は High Risk である。
- ④ 非感染性の発熱で入院中に高頻度に起こりえるものは、 \_\_\_\_\_ の発作である。いわゆる炎症の4徴候 \_\_\_\_\_ の有無を各関節で確認することが重要である。NSAIDsの頓用でも改善するので、投与前の観察・報告が重要である。確定診断には、 \_\_\_\_\_ が必要であるので、整形外科に対診が出る可能性がある
- ⑤ 頓用に用いられる代表的な薬の違いは？

	利点	欠点	注意点
--	----	----	-----

- アセトアミノフェン(200)内服
- ロキソニン内服
- ボンフェナック( )座薬

**下痢**

- ⑥ 入院中の患者さんで下痢が見られた場合、まず本当に下痢であるか= \_\_\_\_\_ でないか、確認する
- ⑦ 入院中の患者さんで下痢があった場合、 \_\_\_\_\_ 内で他に下痢症状がないかどうかを意識する:主治医がバラバラで気づいていないことがある。

入院中に起こる下痢で考えられるものとその対応は

	原因	提出する検査	治療	扱い
<input type="checkbox"/>	_____			
<input type="checkbox"/>	_____			
<input type="checkbox"/>	_____			

※ 必ず \_\_\_\_\_ 予防策= \_\_\_\_\_ を感染管理の観点から【診断前・診断後】から行うことが重要である。

※ 入院後、 \_\_\_\_\_ 日経過している方の下痢で便培養を提出= \_\_\_\_\_ 性感染? =不衛生なものを提供? となる

**嘔気・嘔吐**

⑧ 既に評価されている嘔吐(特に消化器疾患)であれば、嘔気・嘔吐時の指示に従えばよいが、予想外の嘔気・嘔吐であった場合、重症疾患が隠れている場合があるので、注意を要する

- 嘔気・嘔吐+胸痛(胸部から\_\_\_\_\_cmの範囲の疼痛) → \_\_\_\_\_
- 嘔気・嘔吐+頭痛や神経巣症状 → \_\_\_\_\_
- 嘔気・嘔吐+背部・腰部痛 → \_\_\_\_\_

**〇〇痛**

⑨ 体を動かしたときに起こる疼痛は\_\_\_\_\_由来のことが多い。それが脊柱レベルで起こっていると、\_\_\_\_\_骨折の可能性が高い

⑩ 深呼吸、もしくは咳嗽時に起こる疼痛は、上記の筋骨格系由来(=\_\_\_\_\_)、もしくは\_\_\_\_\_由来のことが多い。その場合は口腔内衛生が悪い場合も多いので、\_\_\_\_\_の有無もチェックする

⑪ いろんな疼痛を訴える場合に、\_\_\_\_\_を伴う場合は緊急性が高い可能性がある。また\_\_\_\_\_も脳血流低下を来している可能性があるので、Vital sign のチェックも必ず行う。

なお参考までに、上記の\_\_\_\_\_も\_\_\_\_\_も低血糖症状として見られることもあるので、DM 患者さんのときには血糖もチェックする。

**腹痛**

⑫ ……。腹痛は難しいので、医師の判断に委ねてもよいと思われるが、腹膜炎を呈している場合は、患者さんは痛みのため、【 のたうちまわっている ・ なるだけ動かない 】ようにしていることがあるため、注意が必要である。

**頭痛**

⑬ \_\_\_\_\_障害や、\_\_\_\_\_症状が出ているときの頭痛はもちろん、緊急事態である。(嘔気を伴わない)\_\_\_\_\_と頭痛がある場合も、頭蓋内圧が\_\_\_\_\_になっている場合がある。ちなみに過換気を診た場合に、精神的なものでない状態の1つがこの状態であり、他に重要なものとして、\_\_\_\_\_がある。

⑭ くも膜下出血など、緊急性を要さない一次性頭痛でないことを問診上で高めたいときには、\_\_\_\_\_などの質問をするとよい。

⑮ 機能的頭痛で、\_\_\_\_\_の場合は、適切に診断を受けているかどうか参考として聴取する。片頭痛の診断を受けているときには、トリプタン系の頭痛薬:1錠 約\_\_\_\_\_円を持っていることが多い。

⑯ 鼻閉症状のある患者さんでは、\_\_\_\_\_による頭痛のことがある。診察ではわからないこともあるので、\_\_\_\_\_科に相談することも提案してもよい。

⑰

⑱ 眼の症状を訴える頭痛では\_\_\_\_\_発作に注意する。これは眼科的な緊急症の1つであるので、可能なら、\_\_\_\_\_の左右差、\_\_\_\_\_の濁りなどを見れるとよい。\_\_\_\_\_を伴うこともある。